

夏時間の庭

誰にでも
思い出が輝く
場所がある。

MK2 PRODUCTIONS présente Un film de Olivier Assayas Juliette Binoche - Charles Berling - Jérémie Rénier

Avec Edith Scob - Dominique Reymond - Valérie Bonneton - Jean-Baptiste Malle - Isabelle Sidwan - Alice de Lencquesaing - Emile Berling - Kyle Eastwood - Écrit et réalisé par Olivier Assayas -
Image Eric Gaucher A.F.C. - Montage Luc Bernier - Son Nicolas Cantin Olivier Goinard - Décor François-Renaud Laharrie - Costumes Annie Romand Jorgen Doering - Directrice de production Sylvie Bardet -
Producteurs exécutifs Claire Dornoy - 1er Assistant réalisateur Mathieu Gledhill - Scénario Clémentine Schaeffer - Casting Antoinette Boulat - Produit par Marin Karmitz, Nathanaël Karmitz, Charles Gillibert
En coproduction avec France 3 Cinéma Avec la participation du Canal + et TPS Star et Musée d'Orsay Avec le soutien la Région Ile-de-France En association avec Cofinova and Sofinéma 3
photo © Jeanmick Gravettes © 2008 MK2 SA - France 3 Cinéma 112

監督・脚本:オリヴィエ・アサイヤス

出演:ジュリエット・ビノシュ、シャルル・ベルリント、ジュレー・レニエ、エディット・スコブ、ドミニク・レイモン、ヴァレリー・ボストン、ジャン・バチスト・マルトル、イザベル・サドワイヤン、アリス・ドラクザン、エミール・ベルリント、カイル・イーストウッド
撮影:エリック・ゴアチエ A.F.C./編集:リュック・バルニエ/録音:ニコラ・カンタン、オリヴィエ・ゴウナル/美術:フランソワ・ルノー・ラバルト/衣装:アナイス・ロマン、ヨルグ・グンドラー/製作主任:シルヴィ・バルト
製作総指揮:クレール・ド・ノア/第1助監督:マシュー・グッドヘル/記録:クレモンス・シューファー/キャスティング:アントワネット・ブラ/プロデューサー:マラン・カルミツ、ナタネル・カルミツ、シャルル・ジリベール/製作:MK2プロダクション
共同製作:フランス3シネマ/参加:カナル+、TPSスター、オルセー美術館/支援:イルド・ド・フランス県/協力:コンフィノヴァ/シネマ3
2008年/102分/カラー/フランス/フランス語/ドルビー・デジタル/原題:L'HEURE D'ÉTÉ/協力:東京日仏学院、ユニフランス/配給:クレス・インターナショナル CREA  <http://natsujikan.net/>

3人の子供たちが
向き合う母の遺産。
パリ郊外の家と
美術品コレクション。
そして秘められた想い。



パリ郊外。
画家であった大祖父のアトリエにひとり住む母が亡くなり、
3人の子供たちには広大な家と庭、
そして貴重な美術品が遺される。
相続処理を進める中で3人が向き合うのは、
思い出に彩られた家への愛着と現実とのジレンマ。
そして母の想いだった…。



幸せな余韻はいつまでも消えることがない。
変化の時代に生きる、現代人の心にじんわり染み入る感動作。

『夏時間の庭』は、時代の変化によって、否応なく離ればなれになる現代家族とその絆を描いた親子三代にわたる物語。
母の突然の死によって3人の子供たちに遺されたのは、家族の思い出の詰まった家と、母が秘めた想いをこめ愛していた美術品コレクションでした。
家も遺品も守っていきたく願う長男に反して、海外に住む長女と次男は自分の生活を優先させ、乗り気ではありません。
長男はそんなふたりの反応が寂しくてしかたがないのですが、現実には、生前子供たちの事情を見越し、
すべてを美術館に寄贈するようと言っていた母の言葉通りとなるのです。
「私が死んだらすべて消えていくのよ」と母が語っていたように、めぐる季節にも、人の命にも終わりがあり、時は容赦なく変化をもたらします。
しかし、その思いとは反対に、孫である少女が意外な方法で残された家族のこれからに、ある希望の光を指し示すことになります。
そのラストシーンこそ、輝いていた時間と記憶は決して消えることはなく、姿を変えて母から子へ、孫へ、
そして未来永劫続いて行くことを予感させるのです。

庭の小鳥のさえずりとエレガントな美術品。
美しい音響と映像に惹かれつつ、
人生の変動を受け入れる主人公たちの人間味に共感しました。

——吉谷 桂子 (園芸家)

アール・ヌーヴォーの家具やガラス器に囲まれたベルエポック。
その失われた時を、若い世代はいつか見出すことができるだろうか、
と問いかけてくる映画だ。

——海野 弘 (評論家)

オルセー美術館が撮影に全面協力。
印象派の愛した自然溢れる舞台と、
登場する本物の美術品の数々。

オルセー美術館開館20周年記念の企画として制作された『夏時間の庭』。登場する美術品のほとんどが、美術館や個人の所蔵から貸し出された本物。アール・ヌーヴォーの机や印象派の花器などが日常的に使われているその姿は、美術館に陳列されている時とは異なる、いきいきとした輝きを放っています。オルセー館内での撮影が実現し、その知られざる裏側が見られるのも本作の大きな見所です。また、家族を見守り、その歴史をやさしく包む家と庭は、映画のもうひとつの主人公。イルド・フランス地方の夏草を照らす柔らかな陽光の中で、鮮烈な印象を残します。



5/16 (土) 思い出に包まれる。

特別鑑賞券¥1,500(税込) 絶賛発売中! 当日一般¥1,800(税込)のところ
※公開日前日までの販売になります。 ※ご鑑賞日の5日前より劇場窓口にて指定席券とお引き換えいただけます。

※数に限りがあります。



劇場にてお買い求めの方に限り、デクレオール ベルベット クレンジングミルク、フローラル ローションのサンブルセットをプレゼント。提供:デクレオール

来場者プレゼント 各日の初回来場者150名様! 5/16 (土)「最高級パン専門店 ルセット」の【@shokupan】 提供:(株)イコールコンディション 5/17 (日)【一輪ブーケ】 提供:コリヤ花店

銀座テアトルシネマ

銀座線京橋駅2番出口・有楽町線銀座一丁目駅7番出口 徒歩2分
03(3535)6000 / www.cinemabox.com 全席指定/定員入替制
連日 | 10:00 | 12:15 | 14:30 | 16:45 | 19:00 | 21:10
レイトショー21:10の回は16:5までの上映となります。

